



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 194 号

R7.2.14

文責 中西 勉



【3年】警察官の方から学ぶ

今週10日(月)に、3年生が社会科「事故や事けんからくらしを守る」の単元の学習に際し、岡崎警察署地域課と交通課の2名の警察官の方をお招きして話を伺いました。この単元では、事故や事件から私たちの安全を守るために、誰がどのような働きをしているのかを学ぶことが主なねらいです。それだけに、現職の警察官の方から直接学ぶことができたのは大きな意義がありました。

3年生の子供たちは、警察官の方の話を通して、日頃から事故や事件が起きないように自分自身で危険を予測できるようにすることがとても大切であることを学びました。そして、警察官の方だけではなく、地域の方や行政とも連携して安全を守っていることも知りました。子供たちが、今回の学びを今後の自分の生活に役立てていけることを願っています。



▲地域課の方の質問に答える児童



▲ビデオを見て交通事故の危険を予測



感謝の会 ～全校児童が「ありがとう」の気持ちを伝える～

本日、全校児童が体育館に集い、今年度お世話になった交通指導員さん、防犯パトロール隊の皆さん、読み聞かせボランティアのもこもこさん、令和6年度PTAの皆さん、小久井農場さんへの「感謝の会」を開きました。会の最初に、私は男川っ子に「今日お見えの方々が皆さんを支えてくださっているのを“当たり前”と思わず、“ありがたい”ことだと感じてください。そして、心から“ありがとう”の気持ちを伝えましょう」と呼びかけました。その後、それぞれの代表の方に、代表児童が感謝の言葉を述べ、花と手紙を贈りました。ご出席くださった代表の方々は、お一人お一人が男川っ子に対する温かい思いを伝えてくださいました。会の最後には、全校児童が校歌を3番まで元気に斉唱し、「ありがとう」の気持ちを伝えました。子供たちの思いは、それぞれの方にしっかり届いたと思います。



▲感謝の言葉を述べる代表児童



▲花と手紙の贈呈



▲校歌斉唱で感謝の気持ちを伝える